

平成 年度 (あ) 第 号【この番号は事務局が記入します】
申立人の名称
相手方銀行名

解決に向け、事実の確認が必要となりますので、できる限りご記入をお願いします。  
また、ご記入方法でわからないことがありましたら、お気軽にあっせん委員会事務局  
(050-3532-9505)までお問い合わせください。

## 申立書別紙

### 1. 本件紛争対象の為替デリバティブ取引と申立の内容

本件紛争の対象契約	締結年月日(古い順に)	本件申立の内容
本件契約1	平成 年 月 日	
本件契約2	平成 年 月 日	
本件契約3	平成 年 月 日	

(注1) 本件紛争の対象契約について、締結年月日の古い順に記入してください。

(注2) 記入欄が足りない場合は、適宜、記入欄を増やすか、または別の用紙に記入のうえ、ご提出ください(以下同じ)。

### 2. 本件紛争対象の為替デリバティブ取引の契約締結までの経緯

本件紛争の対象契約	契約までの経緯(相手方銀行担当者からの説明等も含む)
本件契約1(注)	
本件契約2	
本件契約3	

(注) 「1. 本件紛争対象の為替デリバティブ取引と申立の内容」の「本件契約1」について記入してください(以下同じ)。

### 3. 本件以外の為替デリバティブ取引の経験

相手銀行名	為替デリバティブの種類または商品名	取引金額(年間受取額)	契約締結年月	契約期間
		(通貨 )	平成 年 月	年
		(通貨 )	平成 年 月	年
		(通貨 )	平成 年 月	年

(注) 本件紛争の対象取引以外の為替デリバティブ取引について、**契約終了分**や**本件紛争の相手方以外の銀行分**も含めて、記入してください。

4. 会社の商流等

(1) 主な事業の概要（本件契約当時の状況を中心に）

--

(注) 具体的な商流図（お取引の流れ）を別途ご作成ください（手書きで差し支えありません）。その際、商流の中で、実際の取引通貨・取引額を明記してください。

(2) 主な取扱商品の仕入から販売までの商流（本件契約当時の状況を中心に）

仕入品	主な仕入先（企業名）	国名（取引通貨・取引額）		販売商品	主な販売先（企業名）	国名（取引通貨・取引額）

(3) 仕入額の内訳等

		平成 年 月期	平成 年 月期度	平成 年 月期	平成 年 月期	平成 年 月期	平成 年 月期	平成 年 月期	平成 年 月期
仕入総額		円	円	円	円	円	円	円	円
うち、輸入額	外貨建								
	円建	円	円	円	円	円	円	円	円
うち、商社等を通じた間接的な海外からの仕入総額		円	円	円	円	円	円	円	円

(注1) 本件契約1（本件契約のうち最も古いもの）の**契約締結年の前年度から直近まで**記入してください。

(注2) 外貨建の場合は、通貨単位を記入してください。

(注3) 御社が**どの程度為替相場変動リスクを負っているかを事情聴取においてヒアリング**させていただきますので、あらかじめ事実関係を把握いただいたうえで事情聴取にご出席ください（御社が円建で支払っている場合であっても、例えば、**単価が外貨建で値決めがなされている場合**や**為替相場の変動を理由に値上げされる場合**は、御社も値決めの頻度等に応じた為替相場変動リスクを負っていると考えられます）。

5. 添付資料

資料の種類	要否	内容
本件契約書	必須	本件各契約の契約書
その他本件契約関係書類	できる限り	リスクに関する確認書、提案書・説明資料等、相手方銀行から本件契約に関連して交付を受けた資料がある場合
損益計算書・貸借対照表	必須	本件契約1（本件契約のうち最も古いもの）の <b>契約締結年の前年度から直近まで</b> の損益計算書と貸借対照表
その他参考資料	必要に応じて	以上のほかに、申立内容の書類や商流の裏づけとなる書類（契約書、請求書等）、または補強材料となる資料がある場合

以上